

中期経営計画の進捗状況（平成 24 年度）

共立蒲原総合病院

目 次

1	人材の確保	(第4章)	1
2	入院の状況	(第5章)	4
3	外来の状況	(第5章)	6
4	収支の状況	(第6章)	8
5	経営指標	(第6章)	11

I 中期経営計画の進捗状況

1 人材の確保（中期経営計画 第4章 4. 人材の確保）

(1) 医師

（取組内容）

- ・ 医科大学教授や医局への要請（管理者、病院長、事務長による訪問）
 聖マリアンナ大学等訪問 10回
- ・ 医師紹介会社への登録 14社 紹介件数 19件
- ・ 専門員の配置 1名（平成23年度から）
- ・ ホームページへの掲載

（実績）

- ◎ 常勤医 大学医局派遣 外科医師 2名退職 同1名採用
 業者紹介 内科医師 1名退職
- ◎ 非常勤医 大学医局派遣 耳鼻咽喉科医師 1名退職 同1名採用
 神経内科医師 1名退職 同1名採用
 業者紹介 内科医師 1名採用
 その他 眼科医師 1名採用
 整形外科医師 1名退職

○ 医師の就退職の状況（単位：人）

	常勤	非常勤
就職(4/2~4/1)	1	4
退職(4/1~3/31)	3	3
増減	△2	1

○ 医師の状況（単位：人）

	常勤 (人数)	非常勤 (常勤換算)	合計
平成24年4月	19	5.84	24.84
平成25年4月	17	6.21	23.21
増減	△2	0.37	△1.63

(2) 看護師

(取組内容)

- ・ 奨学金制度の活用 平成 23 年度より新たに制度施行

○ 奨学金貸与者の状況 (単位：人)

		平成 23 年度	平成 24 年度
奨学金貸与者		2	8
内訳	1 年生		3
	3 年生		5

- ・ 給与制度(処遇改善) 特別昇給 1 年 1 号ずつ 4 年間 (平成 24 年度から)
- ・ 院内保育所 平成 24 年 4 月再開 月平均園児数 13.5 人

● 採用 22 名 (正規 11 名、臨時・パート 11 名)

○ 看護師の就退職の状況 (単位：人)

	平成 23 年度	平成 24 年度
就職 (4/2~4/1)	24	22
退職 (4/1~3/31)	8	14
増 減	16	8

※身分切替(正規職員から臨時職員・パート職員等)を含まない

○ 看護師の状況 (単位：人)

	平成 24 年 4 月	平成 25 年 4 月	増 減
正規職員	153	151	△2
臨時職員	12	18	6
パート職員	20	23	3
合 計	185	192	7

(3) 医療技術員

- 採用 理学療法士 1名、 薬剤師 1名、 作業療法士 1名
- 退職 作業療法士 1名

○ 医療技術員の配置状況

(単位：人)

	平成 24 年 4 月			平成 25 年 4 月		
	病院	健診	計	病院	健診	計
薬剤師	9		9	10		10
臨床検査技師	13	4	17	13	4	17
放射線技師	9	7	16	9	7	16
理学療法士	12		12	12		12
(うち訪問理学療法士)	2		2	2		2
作業療法士	4		4	4		4
言語聴覚士	2		2	2		2
視能訓練士	0		0	0		0
栄養士	3	2	5	3	2	5
臨床工学技士	3		3	3		3
医療安全管理・技監	1		1	1		1
合 計	56	13	69	57	13	70

【成果】

(1) 医師

5名を採用することができたが、内科・外科ともに常勤医師が1名ずつ減となった。

平成 23 年度から休診となっていた眼科外来が平成 25 年 2 月より、非常勤医師による週 1 日の診療を再開することができた。

(2) 看護師

平成 23 年度より制度施行した奨学金貸与者が 8 名であった。

院内保育所の再開することができ、園児数月平均 13.5 名であった。

正規職員は 2 名の減となったが、看護師全体では、7 名の増となった。

(3) 医療技術員

計画どおり、理学療法士 1 名を採用した。また、退職職員の補充のため、薬剤師 1 名、作業療法士 1 名を採用した。

【今後の取り組み】

看護師、医療技術員については、ある程度充足しつつあるので、今後は、医師の確保により一層努力していく。

2 入院の状況（中期経営計画 第5章 1. 入院）

(1) 一般病床

[亜急性期]

	H24（計画）	H24（実績）	増 減
病床数（床）	14	10	△4
病床利用率（％）	90.0	67.0	△23.0
診療単価（円）	20,800	28,331	7,531
収 益（千円）	95,659	69,325	△26,334

※（実績）平成24年2月～ 10床

[急性期]

	H24（計画）	H24（実績）	増 減
病床数（床）	129	133	4
病床利用率（％）	85	86.3	1.3
診療単価（円）	34,500	38,375	3,875
収 益（千円）	1,380,767	1,604,623	223,856

※（実績）平成24年2月～ 10床

[一般病床 収益合計（亜急性期+急性期）]

	H24（計画）	H24（実績）	増 減
収 益（千円）	1,476,426	1,673,948	197,522

(2) 療養病床

	H24（計画）	H24（実績）	増 減
病床数（床）	60	60	0
病床利用率（％）	85.0	98.0	13.0
診療単価（円）	19,800	19,084	△716
収 益（千円）	368,577	409,382	40,805

【成果】

一般病床については、計画では亜急性期の病床を 14 床、急性期の病床を 129 床であったが、平成 23 年度と同様、亜急性期の対象となる患者の確保が見込めないことから、亜急性期 10 床、急性期 133 床での運用となった。

亜急性期については、診療単価が計画を上回ったものの、対象となる患者が少ないため病床利用率が計画を大幅に下回ったことから、収益が大幅に下回った。

一方、急性期については、病床利用率、診療単価とともに計画を上回った結果、収益が計画より 2 億円を超える増加となったことから、一般病床全体の収益においても、計画を上回る結果となった。

療病病床については、安定した稼働状況であったが、平成 24 年 10 月「療養環境加算」の廃止などの診療報酬の改定があり、診療単価が計画を下回ったものの、高い病床利用率により、収益は計画を上回る結果となった。

【今後の取り組み】

病棟における薬剤師の服薬指導の充実を図ることなどにより、計画どおりの診療単価を維持していく。

また、亜急性期病床の対象となる患者の確保が見込めないため、計画の見直しを行う。

3 外来の状況（中期経営計画 第5章 2. 外来）

(1) 稼働診療科

婦人科、泌尿器科、皮膚科、内科、神経内科、耳鼻科、整形外科、小児科
 外科、脳神経外科、放射線科、呼吸器科、透析（泌尿器）
 眼科（平成25年2月から週1日再開）

(2) 患者数及び診療単価

	H24（計画）		H24（実績）		増 減	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
1日当たり患者数（人）	390		363.6	365.3	△26.4	△24.7
外来診療日数（日）	125	120	125	120	—	—
外来単価（円）	17,750		17,008	10,264	△742	△7,486
年間収益（千円）	865,312	830,700	773,051	449,944	△92,261	△380,756

※ 実績 前半（H24.4月～9月）：院内処方、後半（H24.10月～H25.3月）：院外処方

(3) 救急医療

	H23（実績）	H24（実績）	増 減
外来患者数（人）	3,663	3,199	△464
入院患者数（人）	795	844	49
合 計（人）	4,458	4,043	△415
1日平均（人）	12.2	11.1	△1.1

【成果】

稼働診療科については、皮膚科の常勤医師が産休となったものの、非常勤医師で対応できたことから、計画どおり開設している診療科を維持することができた。また、休診であった眼科については、平成 25 年 2 月より週 1 回ではあるが非常勤医師により診療を再開することができた。

患者数については、小児科、整形外科をはじめ全科で減少している。また、平成 24 年 10 月から、院外処方を開始したことにより、外来単価においても計画を大きく下回ったことから、年間収益も計画額より 4 億円を超える減となった。

【今後の取り組み】

稼働診療科の維持と再開した眼科の診療日拡大に努めるとともに、救急患者の積極的な受け入れを図っていく。

4 収支の状況（中期経営計画 第6章 1. 収支の目標）

(1) 収益的収入

（単位：千円）

款 項 目 節	平成 24 年度（計画）	平成 24 年度（実績）	増 減
病院事業収益	4,754,286	4,563,090	△191,196
医業収益	3,804,361	3,596,373	△207,988
入院収益	1,845,003	2,083,330	238,327
一般病棟	1,380,767	1,604,623	223,856
亜急性期病床	95,659	69,325	△26,334
療養病棟	368,577	409,382	40,805
外来収益	1,704,412	1,220,630	△483,782
その他医業収益	90,832	121,664	30,832
他会計負担金	164,114	170,749	6,635
医業外収益	390,432	397,931	7,499
他会計負担金	345,199	332,912	△12,287
その他医業外収益等	45,233	65,019	19,786
附帯事業収益	559,493	568,786	9,293
健康診断センター収益	510,693	504,275	△6,418
訪問看護ステーション		44,090	44,090
保育所収益		20,421	20,421
売店収益	48,800	0	△48,800
看護学校収益	0	0	0
特別利益	0	0	0
その他特別利益	0	0	0

(2) 収益の支出

(単位：千円)

款 項 目 節	平成 24 年度 (計画)	平成 24 年度 (実績)	増 減
病院事業費用	4,893,729	4,637,916	△255,813
医業費用	4,237,557	3,914,589	△322,968
給与費	2,443,804	2,393,564	△50,240
給料	857,364	834,056	△23,308
手当	717,690	698,118	△19,572
法定福利費	310,673	302,499	△8,174
退職給与等負担金	150,666	136,976	△13,690
賃金	406,074	420,333	14,259
報酬	1,337	1,582	245
材料費	1,094,346	713,072	△381,274
薬品費	918,535	564,343	△354,192
診療材料費	173,266	146,324	△26,942
医療消耗備品費	2,545	2,405	△140
経費	467,037	571,551	104,514
減価償却費	215,531	223,431	7,900
資産減耗費	5,100	4,928	△172
研究研修費	11,739	8,044	△3,695
医業外費用	154,249	155,499	1,250
支払利息	87,906	87,905	△1
保育所運営費		0	0
看護師養成費		360	360
繰延勘定償却	8,218	8,218	0
その他医業外費用等	58,125	59,016	891
附帯事業費用	501,923	529,681	27,758
健康診断センター費	458,090	466,466	8,376
訪問看護費		44,374	44,374
保育所費		18,841	18,841
売店費	43,833	0	△43,833
看護学校費	0	0	0
特別損失	0	38,147	38,147
その他特別損失	0	38,147	38,147

(3) 病院事業収支

(単位：千円)

	平成 24 年度 (計画)	平成 24 年度 (実績)	増 減
病院事業収益	4,754,286	4,563,090	△191,196
病院事業費用	4,893,729	4,637,916	△255,813
収 支	△139,443	△74,826	64,617

【成果】

平成23年度より始まった中期経営計画の2年目であり、初年度以上に着実に当該計画を実施することに努めた。

入院収益は、急性期病床、療養病床の増収により、計画額より約2億3千万円の増となったが、外来収益においては、院外処方の移行による診療単価の減、患者数の減により、計画額より約4億8千万円の減となったことから、事業収益は、計画額と比べ、約1億9千万円の減となった。

一方、事業費用は、院外処方の移行による薬品費の減などにより、計画額と比べ約2億5千万円の減となった。

この結果、実質単年度純損失は、約7千万円となったが、計画額より約6千万円圧縮することができた。

5 経営指標（中期経営計画 第6章 2. 経営指標）

指標	計算式	単位	自治体平均 平成 21 年度	平成 24 年度 (計画)	平成 24 年度 (実績)	増 減
医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}}$	(%)	△17.3	△11.2	△8.8	2.4
医業収益に対する医業利益の割合を表す指標。プラスは医業利益、マイナスは医業損失を示します。比率が高いほど良いとされています。						
経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{医業収益}}$	(%)	△2.6	△3.4	△1.1	2.3
医業収益に対する経常利益の割合を表す指標。プラスは経常利益、マイナスは経常損失を示します。比率が高いほど良いとされています。						
薬品費比率	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}}$	(%)	14.5	24.1	15.7	△8.4
医業収益に対する薬品費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
人件費比率	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}}$	(%)	64.9	64.0	66.6	2.6
医業収益に対する給与費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
委託費比率	$\frac{\text{委託費}}{\text{医業収益}}$	(%)	9.8	7.6	7.8	0.2
医業収益に対する委託費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
経費比率	$\frac{\text{経費}}{\text{医業収益}}$	(%)	7.9	4.7	8.1	3.4
医業収益に対する経費(委託費を除く)の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						

機能性

指標	計算式	単位	自治体平均 平成 21 年度	平成 24 年度 (計画)	平成 24 年度 (実績)	増 減
外来 入院比	$\frac{\text{1日平均外来患者数}}{\text{1日平均入院患者数}}$	(倍)	1.59	2.20	2.02	△0.18
1床当たり1日平均 外来患者数	$\frac{\text{外来患者延数}}{365 \times \text{稼働病床数}}$	(人)	1.39	1.29	1.21	△0.08
患者1人1日当たり 入院収益	$\frac{\text{入院診療収益+室料差額等収益}}{\text{入院患者延数+退院患者数}}$	(円)	35,753	29,538	32,597	3,059
患者1人1日当たり 入院収益 (室料差額を除く)	$\frac{\text{入院診療収益}}{\text{入院患者延数+退院患者数}}$	(円)	35,262	28,539	31,666	3,127
患者1人1日当たり 外来収益	$\frac{\text{外来診療収益}}{\text{外来患者延数}}$	(円)	10,514	17,838	13,671	△4,167

※院外処方（平成 24 年 10 月）の開始に伴い、医業収益と薬品費が減少するため、関連する比率および、金額に影響がありました。